

親子で体験しながら学ぶ わたしたちのまち防災プロジェクト



佛教大学

指導責任者：眞砂照美（社会福祉学部）
活動地域：京都市
活動時期：2024年12月7日・8日

学 生：社会福祉学科、看護学科 計19名
連携先：中京区社会福祉協議会・
中京区子どもの居場所実行委員会

課題と背景

2024年1月1日に発生した能登半島の地震や9月の豪雨災害等全国各地で激甚災害が発生している。京都府では防災を政策課題の一つにしており、地域防災の取り組みに力を入れている。しかし、子どもが地域で防災について学ぶ機会は限られている。また、防災について親子で共に学ぶことも重要である。

主な目的

このプロジェクトの目的は、防災について学ぶ機会を提供し、親子（大人と子ども）が一緒に防災に関する様々な体験を行いながら、防災への意識を高めてもらうことである。

実施内容

A 親子防災セミナー
2024年12月7日
主催：佛教大学学生
二条キャンパス

B 「佛大生と遊ぼう！」
2024年12月8日
【いばしょクリスマス会】
主催：中京区社会福祉協議会・
中京区子どもの居場所実行委員会
二条キャンパス

活動内容(展示・配布)

非常食・
防災グッズの配布

活動ABで配布
5年間保存可のふっくらパン 240缶
非常用笛（ホイッスル） 300個

防災絵本・紙芝居



防災クイズ

佛教大学
被災地支援活動

防災の折り紙の展示

非常口、はしご車、アーミーナイフ、
リュックサック、ブーツなど

（京都大学折り紙サークル
いまじろ〜様提供）

活動内容(体験型)



防災おやつバッグづくり

自分でおやつを選んで、自分で作ったバッグは
とても大事なものになりました。賞味期限が来たら
食べて新しいおやつと入れ替えましょう！

お絵かきパラダイス

活動ABに67名が参加
自分が描いた絵がスクリーンで動く
デジタル遊具



防災ランタンづくり

ペットボトルに水を入れて懐中電灯や
スマホのライトの上に置くと、とっても
明るいランタンになるよ！



自由にお絵かき

災害が起こった時、子どもたちはと
てもストレスを感じます。自由にど
こでも何を描いてもいいよというのは、
安心感につながります。今回は色画
用紙を組み合わせってみました。



来場者の声・アンケートの回答から

- 親子で楽しく学べました
- 展示や体験が充実しており、気になるものもたくさんあったので
スタッフの方からも説明があるととても良かった。
- 各コーナー、いろいろと楽しめるように工夫されていて良かったです。
- 普段防災のことについて話す機会があまりないので、良い機会に
なりました

その他、「子どもを連れて参加できる機会はあまりないので、
とてもありがたい」という声を多くいただきました。

取組を終えて

子どもたちにも大人たちにも、学生たちにも 笑顔があふれました😊

- 案内が直前になったこともあり、京都市以外の方の参加が得られなかった。早めの広報が必要。
- 防災への備えや災害時の子どもへの接し方などについて事前に資料を用意して配布すれば良かった。
👉プロジェクト活動報告リーフレットを作成し、**配布予定（2025年3月）**
- 京都市と京都市以外での複数開催実施に向けて、連携先や学生などスタッフを増やすことが必要。
◎来年度も継続して親子防災プロジェクトを企画開催したいと思います。